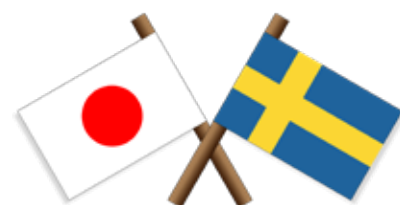


高校生の短期留学ホームステイ スウェーデン王国レクサンド市 への旅



研修生(写真左から)

- ・松浦 彩来 さん(1年)
- ・越後 夏実 さん(2年)
- ・トルペル 史紋 さん(3年)

引率者(写真右から)

- ・出内 雄太(セールス戦略課ふるさとプロモーション係)
- ・山田 厚介(ゼロカーボン推進室ゼロカーボン推進係)

国際化が進む現在、当別町は昭和62年にスウェーデン王国レクサンド市と姉妹都市提携をしており、様々な相互交流を行っています。

今回、未来を担う人材を育成するための「当別町人材育成基金」を活用し、当別町在住の高校生を対象に、海外での体験研修や交流等を通じて次代を担う若者たちの見聞を広め、国際的な視野と豊かな感性を持った未来の人材を育成することを目的としたホームステイ事業を実施しました。

このホームステイ研修事業は、令和元年に高校生がスウェーデンを訪問して以降、コロナ禍で4年間実施が見送られてきましたが、令和5年末にレクサンド市側と協議を行い、約5年ぶりに事業を再開しました。

研修生が、11月11日から17日までの7日間の研修でどのような交流や経験をしてきたのかを紹介します。

研修の大まかなスケジュール

1日目
11/11
レクサンド市へ
役場からレクサンド市まで車、航空機、鉄道を乗り継ぎ14時30分頃に出発し、翌日13時頃に到着

2日目
11/12
市内見学・レクサンド市長への表敬訪問
マイストング等の見学、各自ホストファミリーの家へ

3日目
11/13
レクサンド高校で授業参加
体育、生物、社会などの授業に各自参加

4日目
11/14
レクサンド高校で授業参加・市内見学
英語の授業で自己紹介・当別町の紹介、トーモクハウスの見学、アイスホッケーの試合観戦

5日目
11/15
ストックホルム市内見学
ストックホルム市庁舎・ノーベル博物館等の見学、在スウェーデン日本大使館訪問

6日目
11/16
ストックホルム市内見学後、当別町へ
市内中心部を見学

7日目
11/17
当別町へ
ストックホルム市から役場までバス、航空機を乗り継ぎ前日11時頃に出発し、21時頃に到着



レクサンド駅前



高校で英語のプレゼン



レクサンド市長表敬訪問(写真中央がラーション市長)



ホームステイ先での夕食



アイスホッケーの試合

日本では使う機会が少ない

英語を使って話す経験ができました



松浦 彩来さん



高校で英語のプレゼン

レクサンド市内にあった標識には、当別町の方角と距離が書かれていて、姉妹都市であることを実感しました。

高校では生徒たちが私服で、給食がフードロス削減のためバイキング形式だったことには驚くとともに効果的だと思いました。授業では自己紹介と当別町に関するプレゼンを英語で行い、質問にすぐに答えることができたので、自分が学んだことが身についていることを実感できて嬉しかったです。この経験は、英語を使う機会が少ない私にとってとても貴重でした。



当別町について書かれた標識



高校のバイキング給食



ノーベル博物館とメダル

また、研修中に風邪を引いてしまった時、ホームステイ先の人のがのどあめをくれたり、蜂蜜をお湯で溶かした飲み物を作ってくれたりする優しい人たちだったので、安心して研修をすることができました。

研修を通じて、英語をもっと勉強し、実際に使いたいという気持ちが強くなったのと、一生忘れられない経験になりました。

失敗を恐れずに挑戦する気持ちと

周りの人との関わり方を学びました



越後 夏実さん



ストックホルムにて

長時間のフライトを終えてスウェーデンに到着し、ようやく案内役の津金さんと合流ができて一安心できました。

高校ではスウェーデンの歴史に関する授業で「長くつ下のピッピ」の動画が流れた際に、生徒も先生も一緒に歌っていたので、その人気がわかりました。一番緊張したのは英語の授業でのプレゼンで、質問に対する回答が難しかったです。一部の英語が聞き取れなかったり、答えを思いつくのが難しかったりしましたが、この経験が今後につながると思い、積極的に挑戦しました。



アイスホッケー観戦



ホームステイ先で食べたタコス



スウェーデンハウスに使われる部品

トーモクハウスを見学し、そこで作られた部品が輸送され、日本でスウェーデンハウスができることにすごいなと思いました。

研修中に、上手く伝えられなかったり、内容が理解できないこともありましたが、そのような経験を通じて、考え方や失敗を恐れず何かに挑戦する気持ち、そして周りの人との関わり方を学ぶことができました。

世界という広い視野で

考えることができるようになりました



トルペル 史紋さん



高校でフィーカ

スウェーデンでの生活を通じて、日本との相違点を発見しました。例えば、電車が定刻通りに来るのが稀なのと、生活の中にお菓子とコーヒーを食べながら雑談をするフィーカがあることです。

また、高校では学費と学食費が無料で、授業中に生徒が好きな音楽を学校のスピーカーで流すことが許されているなど、自由度の違いを感じました。授業では、レクサンド高校の生徒の発表を聞いて、英語のレベルの違いを実感し、英語の上達が必要だと感じました。



ストックホルム市の街並み



レクサンド市の街並み



レクサンド高校

この研修を通して、様々な視点から世界を考えることができるようになったと実感しています。進学や就職についても、日本だけでなく世界という広い視野で考えることができるようになりました。

研修で自分自身の未熟さを認識した一方で、この経験を活かすために、今後も努力を続け、成長していきたいと思っています。